

日本最北端の稚内市でフリルレタス「ひかり菜」を水耕栽培

社会福祉法人 稚内市社会福祉事業団
就労支援B型事業所 稚内市北光園(稚内市)



【組織等の概要】

- 業種：就労継続支援B型事業所
- 総合施設長(常務理事)：満保 和吉
- 設立年：平成23年9月
- 販売先：稚内市近隣の6市町村20店舗
- 事業内容：野菜水耕栽培、クリーニング作業受託
- 連絡先TEL：0162-28-1224
- ホームページURL：
<https://www.wakkanai-fukusijigyodan.com/work/hokkouen>

【取組の経緯と概要】

- ◆ 昭和58年に身体障害者授産施設として開園したが、平成23年に入所機能を全廃する事業転換を行ったため、未利用となった居室棟の有効活用を模索。
- ◆ 平成27年の農福連携セミナーへ参加したところ、北海道内で屋内水耕栽培を行っている事例を知り、稚内市北光園でも取り組めないか検討を開始。
- ◆ 準備期間を経て、平成29年4月に居室棟を一部改修し、同年9月からフリルレタスの栽培を開始。
- ◆ 平成31年にはJ-GAP認証を取得するとともに、工場内の栽培装置を増設。また、「最北の野菜工場ひかり菜」としてブランド化し、ロゴマークを商標登録。
- ◆ 施設利用者が生き生き働ける場の創出、最北の地での水耕栽培などの取組が、実需者・消費者から高い評価を得ている。

【取組の成果】

- J-GAPの取得や通年栽培などにより、実需者・消費者の信頼を得ることで利益が生まれ、工賃向上を実現。
- は種から収穫まで一連の作業を行うことにより、野菜の生長を体感できることや、自ら作った野菜を対面販売する際に消費者からの声を直接聞くことが、施設利用者のやりがいや労働意欲向上に繋がっている。
- 完全密閉型の屋内水耕栽培とすることにより、年間を通じて一定の室温かつ清潔な環境で作業を行うことができ、施設利用者や利用者の家族から喜ばれている。
- 開園時よりクリーニング受託を訓練活動として取り組んできたが、施設利用者の仕事の選択肢が広がった。
- 北海道開発局が実施する「わが村は美しくー北海道」(第10回:奨励賞、第11回:優秀賞)や、農林水産省が実施する「ディスプレイ農山漁村の宝」(令和6年度:北海道地区コミュニティ・地産地消部門)などを受賞。

【今後の展望】

- J-GAP認証工場として、品質や安全性の維持をモットーに、通年安定栽培を継続することにより、障害者への働く場の提供、自立生活支援、作業工賃や労働意欲の向上につなげ、引き続き地域社会へ貢献していきたい。



●生育ステージ別に棚を分けて栽培



●ロゴマークが付いた商品パッケージ



●栽培装置をラッピングした商品配送車